

# 昭和21年秋 北海道最北端の地

## 5歳児の記憶

東京札幌会 会長 金 曾 裕 一



環境 宗谷郡猿払村浅茅野 天北線(平成元年廃線) 浅茅野駅は猿払川、上流の支流セキタンベツ川 川沿に石炭鉱脈があり採炭出荷駅 父30歳近郊の炭鉱で働く鉱山技師 (母25歳と私5歳の3人家族)

- ① 駅前郵便局、小学校、駅から一本道通り沿に二軒長屋の我が家
- ② 東京の花売り娘がラジオで流れていた子供なりに口ずさんでいたがトウキョウと言う発音ができなかった
- ③ 重い石炭を積んだ黒煙の機関車が毎日何だ坂こんな坂と坂を登っていた 冷たいレールに耳を当て遊んでいた 遊び疲れ線路で寝てしまった事も
- ④ 母と2人で釣竿1本持って流れの急なセキタンベツ川でウグイ釣り ウグイ

1匹竿にぶら下げ持ち帰り 父が七輪で焼いてくれ3人で夕飯  
 ⑤ 毎年雪解け時猿払川上流の支流 セキタンベツ川氾濫の不思議 氾濫浸水に備え民家が高床式住居 ポート装備 氾濫被害なしの不思議 ポート生活は1週間前後 引き水が家の前のゴミを一掃 何処へ消えた?

⑥ 秋には白樺の油分多い白い樹皮を 白樺の山に入り家族皆で冬の準備 ルンペンストロープの着火材として使用していた北海道弁? ガンビというものは 白樺に切れ目を入れ皮をはがす

◆ 満州帰りの両親にとつて敗戦で全てを無くし貧しく先の見えない生活だったに違いないが私は幸せな記憶しかない

# ふるさと浜中を離れて半世紀

ふるさと浜中会 幹事 村 田 昇



ふるさと浜中を離れて50年、神奈川県に就職した私ですが、ふとした時に生れ育った浜中町散布の景色、遊んだこと等がよく思い出され懐かしく思います。

今年6月、会社の友人と浜中町に行ってきました。友人達は8年前に訪れたとき、夕日に感動し浜中が好きになったメンバーです。ちょうど竿前昆布漁の時期でした。朝早く起きて浜辺から見る昆布漁の船と日の出は50年前に見た風景そのものでタイムスリップしたかのようでした。私の生まれ育った浜中町散布には海、山、川、沼が近くにあり、子供の頃は釣りざん

まいの毎日でした。土曜日学校から帰ると釣り餌のみみず取り、そして翌日は朝早く起きて溪流釣りに出発です。湿原の中、やちぼうずを足場に転々と飛び跳ねながら川にたどりつき、ヤマベ、アメマスを釣りながら上流に向かい水がなくなるところまで行くのです。川のとこどころに、まんさくの花(福寿草)やアイヌネギ(行者にんにく)の群生があり、その美しさは今でも忘れられません。

このような自然が沢山残っている浜中ですが、エゾシカ、ヒグマ、キタキツネが民家近くまで来て畑を食い荒らす状況を見ると自然との共生につ

### コラム

北海道銀行 東京事務所

丸 田 雄 亮

弊行は、1951年3月、道民の皆様の手により「どさんこバンク」として設立されました。2004年9月には、北陸銀行と経営統合を行い、株式会社ほくほくフィナンシャルグループの一員として、我が国初めての広域地域金融グループを形成しております。

現在東京支店・東京事務所では、北海道と首都圏を様々な観点から結びつける活動を展開しており、「地域共生」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、「地域から親しまれ頼りにされる銀行」を目指し、常に地域に根差し北海道の皆様のお役に立つことを目標としています。



2017年6月撮影  
 竿前昆布漁と日の出 (浜中・藻散布の海岸)

いて真剣に考える時期がきているように思います。世界に誇れる日の出、夕日のきれいな浜中、自然がそのまま残っている浜中、日本はもちろん、世界中の人達に見て感動してもらいたいと思います。そのためには、浜中をふるさとに持つ自分達が、自然保護のために知恵をだし合いながら積極的に生物多様性保全活動に取り組んでいきたいと考えています。

北海道から世界に伝えます  
 日本の心・日本の味

From Hokkaido to the World  
 : The Heart and Flavor of Japan

木綿屋男山本家  
**男山株式会社**  
 北海道旭川市永山2条7丁目1番33号  
 TEL 0166-48-1931  
<http://www.otokoyama.com/>

営業種目

高低圧電気設備設計施工	音響設備設計施工
CVCF,UPS設備設計施工	セキュリティ設備設計施工
空調設備設計施工	衛星放送アンテナ工事
防災設備設計施工	情報配線システム工事
自動制御設備設計施工	工事付帯設備工事

**NEEC 西澤電工株式会社**  
 取締役会長 西澤章二  
 (東京中標津会・会長)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-21-7  
 TEL 03-3738-2181 FAX 03-3738-2180